



子どもたち自身が、「社会の中で生きていること、地域の中で支えあって生活しているということ」を
実感できるような教育環境を学校・家庭・地域が一体となってつくりあげるために

「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」を設置しました

「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」は、子どもたちの学校内外の教育活動に、企業・大学・NPO等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワークづくりを目指した中間支援組織です。

キャリア教育支援、奉仕体験活動などの課題別部会等で研究協議するとともに、データベースの作成や、教育フォーラムの開催等を通じて、学校・家庭・地域の協働を支援していきます。

8月5日、経済団体・企業・NPO・区市町村教育委員会等から、多くの方の参加を得て、「地域教育推進ネットワーク 東京都協議会」の設立総会を開催しました。



開会あいさつの中で、比留間英人会長（東京都教育庁次長）は、「これからは、教育の質が一層問われてくる時代。既存の知識の習得のレベルにとどまらず、未来の知識を創造していくことのできる人材を育成することが期待されている。」と述べ、「協議会」が、今後の教育分野で果す役割が大きく、そのためには、企業・大学・NPO等

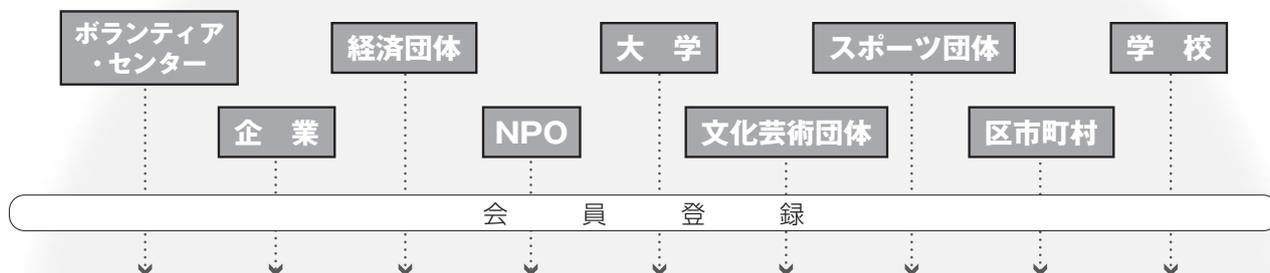
の専門的な分野での経験と蓄積が学校内外での教育活動に不可欠であることを強調しました。

また、遠藤勝裕副会長（経済同友会「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」委員長）は、「経済同友会では、メンバーが、交代で学校に出かけて、子どもたちに話をする交流活動の実践を通じて、さまざまな課題を抱える我が国の学校教育の改革・促進に寄与するという目的を掲げています。『協議会』に交流活動推進委員会としても積極的に参加することで、子どもたち、先生、親、地域での様々な活動のネットワークと経済同友会の活動がコラボレーションできるのではないかと考えています。私どももいたしましても、この『協議会』の立ち上げの趣旨に全面的に賛同するものでございます。」とあいさつされました。



参加した団体等からは、それぞれのプロジェクトの紹介があり、「『協議会』という中間組織が間に入ることで、民間組織（企業等）と教育現場が、うまく連携していけるのではないかと期待感を持って歓迎する」旨の発言がありました。

〈地域教育推進ネットワーク 東京都協議会のしくみ〉



地域教育推進ネットワーク 東京都協議会

1 課題別部会

キャリア教育をはじめとする喫緊の教育課題へ対応するため、会員による課題別プロジェクトを結成

4・6ページにレポートを掲載

2 教育支援・人材プログラムバンク

学校関係者をはじめ、教育関係者たちが学校外の社会資源の効果的活用を図るためのデータベース作成

3 メーリング・リストによる情報交流

会員間で「メーリング・リスト」を作成し教育関係者と支援者との間での双方向の情報交流を行う

4 都教委が支援する教育活動への協力

地域教育プラットフォームモデル地区や都立学校等からの要請に基づき、教育活動を支援する

地域教育プラットフォームモデル地区
世田谷区・新宿区・杉並区・小平市

区市町村教育委員会・学校

都立学校

5ページにレポートを掲載